

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	元石川高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	---------	------------------	---------

1 学校のミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 自立した社会人として、社会の変化に柔軟に対応できる人材の育成をめざし、これからの時代を心豊かにたくましく生きていく力を育むよう教育活動を展開する。
- 生徒が自ら課題を発見し、他者と協働して解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高める授業を実践することにより、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善を進める等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 「自立・協働・創発」のスローガンの下、生徒が主体的に学びに向かう姿勢や協働して解決する力を養う等、これからの時代を生き抜きことのできる資質・能力の向上を図り、社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成する。

【育てたい人材】

- ・社会の変化に柔軟に対応でき、自ら課題を発見し、他者と協働して解決する力、創造する力を持ち、将来の夢を実現する人材の育成。

【身に付けさせたい力】

- ・課題を発見し主体的かつ協働的に解決する力、創造する力。
- ・課題解決に必要な情報活用スキルと思考力・判断力・表現力。

〈グラデュエーション・ポリシーより〉

3 計画策定時点での課題

- ・生徒一人ひとりが、学習や進路等で明確な目標、目的を持ち、自ら課題を発見し、他者と協働して解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高める探究型の授業を組織的に実践する必要がある。
- ・授業や学校行事等に参加する際に主体的に取り組むこと、他者と協働して解決していく力を身に付けさせる必要がある。
- ・社会の変化に柔軟に対応できる力を育成し、生涯にわたる自己実現を図る能力や態度を育成する必要がある。
- ・地域に開かれた学校としての役割を果たし、生徒の社会参画意識の向上や市民性の醸成を図る必要がある。
- ・施設・設備の老朽化が見られ、安全・安心な学習環境の整備を計画的に進めることが必要である。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	これからの時代に求められる資質・能力を育むとともに、生徒の進路実現を図る教育課程編成と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善に取り組む。	課題発見・解決能力の涵養や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立てを考える。また、その実現に向けて授業改善や教育活動の充実を図る。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	学習活動や学校行事、部活動を含めたすべての教育活動を通して、命の大切さや自他を思いやる人間性や社会性を育む。	生徒が自主的に考え、判断し行動できる力が身に付くように指導支援する。また、学校行事等の取組みを通して、生徒の主体的な活動を促進する。
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが希望する進路の実現に向けた進路指導の充実を図る。また、社会的・職業的な自立を目指したキャリア教育を構築する。	生徒一人ひとりが希望する進路を実現できるように、主体的に学び続ける生徒育成に向けての手立てを考える。生徒に高い目標に挑戦する意識を持たせるとともに、進学を支援する学習環境の整備を行う。
4	地域等との協働	地域に開かれた学校として、地域との交流や協働を通して、生徒の社会性を伸ばし、自己有用感を醸成する。また、地域と一体となった学校づくりを進めていく。	地域の力を最大限に活かす交流や協働の手立てを考え、様々な体験をふまえた上で、自己の存在感や有用感を高められる学校づくりを行う。
5	学校管理 学校運営	安全・安心・快適な学習環境の整備・充実に努めるとともに、事故や不祥事防止の徹底に努め、信頼される学校づくりを推進する。	学校活動だけでなく、地域活動においても安全・安心・快適な環境を構築できる手立てを考える。